

第1学年O組 道徳科学習指導案

令和3年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 主 題 名 誠実な行動 A 自主, 自律, 自由と責任

2 本時のねらい

○誠実な行動についての話し合いを通して, 自分の行動に責任をもつための判断力と意欲を育む。

3 準備・教材

○教材名「裏庭での出来事」

○教師・・・場面絵, ワークシート

4 関 連

道徳 「自分で決める」(自由と責任)

5 学習指導過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
導 入	1 失敗したときに正直に謝れなかった経験を話し合う。 ・学校で, 宿題や提出物などの忘れ物をしたとき。	3	○具体的な体験とそのときの気持ちを述べさせ, 教材への方向付けをする。
展 開	2 教材を読み, 話し合う。		○場面絵を提示しながら教師が範読する。
	先生に言いに行こうとするが, すぐに行かなかった健二をどう思いますか。		
	・よくない。割ったから正直に話すべき。 ・仕方ない。ボールを当てて割ったなんて言ったら, 余計に叱られるから。	15	○なぜ健二はすぐに行動できなかったのかを問い, 健二の葛藤を想起させる。
	あなたが健二なら, 先生に言いに行くことができますか。		
開	・できない。雄一のことを考えると, 大輔の態度は納得がいかない。 ・できる。自分だけでも誠実な態度を見せることで, 先生にも気持ちが伝わるから。 ・自分だけ誠実な態度をすれば, 仲間に入れてもらえなくなるかもしれないという気持ちがある。	35	○単なる二択ではなく, 理由を考えさせることで, 生徒が「誠実」をどのようにとらえているのかを把握し, 補助発問をする。 補健二の気持ちが揺れたのは, どのようなことを恐れていたからだろう。 補自分の間違いを謝ることで, どのようなことが得られるのだろう。
	3 生活を振り返り, 自己を見つめる。		
終 末	誠実な行動をとるために, これからあなたが必要だと思うことはなんですか。		
	・友達の誘惑についつられてしまいそうになるが, 気持ちを抑えて, きっぱり断る気持ち ・相手のことばかり気にするのではなく正しいことを正しいと言える態度 ・自分の行動に対しての責任感	45	○自分の考えを深め広げるために, 行動面ではなく, 心情面に目を向けさせた上で自分事として捉えさせる。 評自分の行動に責任をもち, 誠実に伝えることの大切さについて, 自分の言葉で考えている。(発表, ワークシート)
	4 本時のまとめをする。 ○本時で大切だと思ったこと, 学んだことワークシートに記入する。	50	○これまでの話し合いを踏まえて, 自分の考えを書かせる。

6 本時の評価

○登場人物の行動や心情を通して, 人の弱さを克服して, 誠実に言動することの大切さに気付いている。
(発表, ワークシート)